

2019年度 津田塾大学 夏期語学研修 カナダ マギルプログラム



- ◆ 渡航期間：2019年7月6日(土)～2019年7月28日(日) 23日間
- ◆ 研修校：McGill University
School of Continuing Studies and Language Intercultural Communication
- ◆ 滞在方法&食事条件：マギル大学寮（一人ないし二人部屋/1日3食付）
- ◆ 引率者・添乗員：
 - ・引率者・添乗員の同行はありません
 - ・空港でのチェックインアシストあり
- ◆ 募集人数：32人（最少催行人数 12人）
- ◆ 応募資格：本学の学生で、次の条件を満たすこと
 - ・健康且つ協調性・柔軟性があること
 - ※ただし持病のある場合は研修参加について予め医師に相談し、海外渡航の同意を得てください。
 - ・保証人の同意を得ていること
 - ・事前・事後研修に出席できること
 - ・本学指定の海外旅行保険に加入すること
- ◆ 奨学金：
 - ・本プログラムはJASSO(日本学生支援機構)奨学金8万円(給付)の対象プログラムです。
 - ・受給条件等は申込書ファイルにある「留意事項」を確認してください。
- ◆ 研修費用・旅行費用（一人）

月 日	予 定（時間は現地時間です。）	滞在方法
7/6 (土)	成田空港集合後、点呼 17:30 成田空港 出発 (AC6) 16:30 モントリオール空港 到着 バスでマギル大学寮へ	マギル 大学寮
7/8 (月) ～ 7/26 (金)	マギル大学にて研修 研修最終日：修了証書授与	
7/27 (土)	マギル大学からバスで空港へ移動 14:05 モントリオール空港 出発(AC5)	機中泊
7/28 (日)	15:50 成田空港 到着 点呼後解散	

*上記日程表は、2019年3月現在のものです。現地事情及び航空会社の都合により、変更になる場合があります。

*旅行費用は、参加人数、為替変動、航空運賃の変更等により変わる可能性があります。

*左記、研修費用・旅行費用は2019年3月現在のレートで換算しています。研修費用・旅行費用・オプション費用は、2019年5月に最終決定します。

	12～24人	25人～32人
研修費用	433,800 円	412,200 円
旅行費用	163,200 円	163,200円
諸費	8,300 円	8,300円
合 計	605,300円	583,700円

【研修費用に含まれるもの】

- 語学研修費（アクティビティ費用込）
- 滞 在 費（大学寮、1日3食付）

【旅行費用に含まれるもの】

- 往復航空運賃（エコノミークラス利用）
- 事務代行手数料

【諸費に含まれるもの】

- 事前レクチャー費用
- TOEFL ITP受験料(2回)、その他

【研修費用・旅行費用に含まれないもの】

- 海外旅行保険代(本学が指定する保険に必ず全員加入して頂きます。)
- 燃油特別付加運賃(35,000円/往復 2019年3月現在)
- 空港関連諸税(8,790円/2019年3月現在)
- eTA取得費用
- 個人的な性質の諸費用（電話代、クリーニング代、追加飲食費等）
- 超過手荷物料金（航空会社の規定による超過手荷物運搬料金）
- 研修日程以外および自由行動時に伴う費用
- 集合場所まで、および解散場所からの日本国内移動費用
- 現地移動通学費
- オプション ①ケベックシティへのデイトリップ
②トロント・ナイアガラの滝への小旅行

◆マギルプログラムの旅行手続きは全て、株式会社日本旅行 東京多摩支店を通じて行われます。

2019 McGill Program

夏期語学研修の目的

第二タームと夏期休暇期間を利用して本学と深いつながりのある協定校で、英語の基礎的な運用能力の向上を図り、研修地での生活を通して異文化の理解と国際感覚を身につけることを目標としています。

約3週間の現地での研修をより効果的なものとするため、事前研修・現地研修・事後研修の3部構成となっています。研修プログラム全体は以下のステップで行われ、修了者は審査の上語学研修(英語)の単位が認定されます。

スケジュール	詳細	日程・場所	
		小平キャンパス	千駄ヶ谷キャンパス
プログラム説明会	プログラム全体説明会	4月5日(金) 12:15~12:55 (5101)	説明会の録画 DVDを 後日貸し出します
	昨年度参加者の体験談	4月9日(火) 12:15~12:55 (5101)	
	研修校の担当者によるオンライン説明会 マギル大学の担当者から、より詳しい授業内容、 キャンパスについて聞くことができます!	4月8日(月) 12:15~12:55 (5101)	4月8日(月) 12:15~12:55 (SA202)
申請方法/申請期間	<ul style="list-style-type: none"> 国際センターのウェブサイト (https://www2.tsuda.ac.jp/cie/summer.html) から申込用紙をダウンロードし、説明をよく読んで上で、申込書にある指定のアドレスまで申込書を送付してください。 単位認定を希望する場合は申込書に✓を入れてください。 	申請期間 4月5日(金) ~4月12日(金) 16:30	
参加者発表	参加希望者が32人以上の場合は抽選となり、国際センターが厳正に抽選を行います。	4月16日(火) 10:00 国際センター掲示板	4月16日(火) 10:00 1Fラウンジ commons 掲示板
実施説明会 *出席必須	参加者に決定された方に実施要綱を配布します。この日に無断で欠席の場合キャンセルとみなします。	4月16日(火) 12:15~12:45 (7308)	4月16日(火) 12:15~12:45 (SA202)
申込金納付	参加決定者は、申込金(5万円:研修費部分:25,000円、旅行費部分:25,000円)を(株)日本旅行指定の銀行口座に納入してください。 振込先:みずほ銀行 十五号支店 普通預金 3104295 口座名:カ)ニホンリョコウ ※振込の際は参加者ご本人名(カタカナ)を入力のこと 例)ツダ ハナコ	申込金 納付期限日 4月24日(水) 15:00	
残金の支払い	旅行会社より各参加者に送付される請求書の内容を確認後、申込金と同じ口座に振り込んでください。	残金 納付期限日 5月24日(金) 15:00	
事前研修 *出席必須	全4回 本学・旅行社からの諸注意、昨年度参加者体験談・質疑応答、異文化コミュニケーション、他大学教授による講義(英語)、危機管理説明、等	第1回 4月24日(水) 5限	第1回 4月25日(木) 5限
		第2回・第3回 小平キャンパス 5月25日(土) 13:00~16:00	
		第4回 小平キャンパス 6月21日(金) 13:00~14:30	
	TOEFL ITP	5月29日(水) 16:20~19:00	5月29日(水) 16:20~19:00
危機管理説明会 *出席必須	外務省による海外危機管理説明会	5月29日(水) 12:10~12:55	5月28日(火) 12:10~12:55
	CIEE(国際教育交換協議会)による海外危機管理説明会	6月4日(火) 12:10~12:55	6月6日(木) 12:10~12:55
マギル大学での研修 出発:2019年7月6日(土)~帰国:2019年7月28日(日)			
事後研修 *出席必須	TOEFL ITP	9月11日(水) 16:20~19:00	9月11日(水) 16:20~19:00
	研修のフィードバック	9月18日(水) 5限	9月20日(金) 6限
単位認定	科目名:語学研修(英語) 履修要覧 学芸p.72・総合p.37 参照 単位数:2単位 分類:学芸「自由科目」、総合「総合科目」 評価:P(合格)あるいはF(不合格)		

※研修等の場所は実施要項でお伝えします。

研修校・研修内容紹介

研修校

McGill University

**688 Sherbrooke Street West, Suite 1025
Montreal, Quebec, Canada H3A 3R1**



McGill大学

マギル大学は、カナダ・ケベック州最大の都市モントリオールに位置する1821年に創立された、カナダ最古の大学です。その後学部・学科の拡張を続け、現在ではカナダでも有数の大規模校となりました。120カ国以上からの留学生や研究者からなる3万人以上が在籍しています。2018年QS世界大学ランキングではカナダで第2位となるなど国際的評価も高く、広範囲の分野におけるノーベル賞受賞者を輩出しています。またオリンピックの金メダリストも多く、スポーツも盛んです。フランス語圏に位置しますが授業は英語で行われています。



大学キャンパス

マギルプログラムとは

English Immersion Summer Program

モントリオールという多文化主義の街にあるマギル大学は、『外国語としての語学教育』の実績と知識の豊かな大学で、学生は整備の行き届いた教室・ラボで充実した語学訓練によって実用的な英語を身につけることができます。このプログラムの目的は、カナダの美しい自然と、ケベック州の多民族・多言語社会と交わりながら、真のコミュニケーションが出来る英語を学ぶことです。マギル大学はアジア人学生のための語学研修に力を入れており、長い実績があります。(Program HP : <https://www.mcgill.ca/continuingstudies/program/english-immersion-summer-program>)

研修内容

Language Workshop (1週間25時間の授業)

このプログラムは聴解やオーラルコミュニケーションを主眼としており、ディスカッションやプレゼンテーションを通して実践的な会話力を身につけることができます。1クラスは15人から最大22人で、午前は英語クラス、午後はワークショップやアクティビティーが組み合わされています。またフランス語圏ですので、街に出ればフランス語の日常会話を実践することもできるでしょう。



McGill大学図書館

Monitors (マギル大学の学生が同じ寮で24時間体制でサポート)

毎年参加者から非常に好評なのが、このプログラムのモニター制度です。マギル大学に在籍する学生たちが研修期間中同じ寮に滞在し、全ての課外活動に同行して勉強や生活面で皆さんのサポートをします。食事時間、自由時間を含め授業後、夜、週末において、モントリオール市内観光、ショッピングセンター、オタワへの日帰り旅行といった様々なアクティビティーにおいて、同世代の現地学生と深く交流できるのがマギルプログラムの特徴です。

Activities

語学だけではなく、文化面でもカナダについて多くを学ぶことができます。モントリオール市内の博物館や、オールド・モントリオールなどへの外出プログラムが多く組み込まれており、歴史や文化を学んだり、街頭でインタビューをしたり、多角的にカナダに触れることができます。各週末にはオタワ観光や、モニター企画の課外活動が行われ、様々な楽しみ、学ぶことができます。また、希望者はオプションで第2週目の週末2日間は*ケベックシティへのデイトリップ、もしくは2泊3日で*トロント・ナイアガラの滝への小旅行に参加することができます。カナダの生活文化や自然に触れることができます。

*Quebec City day trip : (別料金:CA\$150)

*Toronto and Niagara Falls Weekend : 研修校主催の週末旅行 (別料金:CA\$590)

Residence Life

滞在中は、寮の個室で生活します。寮にはカフェテリアの他に簡易キッチンがあり、他にインターネットアクセスのあるラウンジ(24時間使用可能)、テレビ部屋、ランドリー施設、中庭等があります。



ナイアガラの滝

昨年度参加者より「マギルプログラムに参加して」 国際関係学科2年(研修時1年) 三浦 祐子



(筆者右手前から3番目)

私が今回マギルプログラムに参加した目的は2つでした。

1つ目は語学力の向上で、特に座学ではなかなか伸ばすことができないスピーキング能力を鍛えたいと考えていました。

2つ目は海外の大学の雰囲気を感じることでした。長期留学を少しでも視野に入れているのであれば、まず海外の大学を知ることが重要になると考えたためです。

研修期間の平日の午前は英語の四技能を鍛える授業を受け、午後はそこで学んだ知識を活かしながら楽しめるアクティビティに参加しました。

授業では、カナダを題材とした文献や音声を使用するため、英語を学ぶと同時にカナダの歴史や文化についても学ぶことができました。授業はもちろん英語のネイティブスピーカーによって進行され、生徒も英語で意見を出し合うというオールイングリッシュ形式で、とても刺激的でした。プレゼンテーションの準備などの宿題が出されることもありましたが、あまり重荷になることはなく、先生も丁寧に添削してくださいました。また、週に一回発音クリニックという授業が行われます。発音を重点的に学ぶ授業で、発音のメカニズムを学んだり実際に発音し合ったりしました。

アクティビティでは、クラスモニターと一緒にモントリオールの様々な観光名所に訪れました。観光を楽しみながら、クラスモニターと英語で会話をするのが醍醐味でした。アクティビティが終わると夕食までの間少しだけ自由時間があり、そこでショッピングに行く人もいました。夕食後は、モニター(クラスモニターとは別で、寮での生活などを手助けして下さる方々)がボーリングやレーザークエストなどのアクティビティに連れて行ってくださることもありました。特にアクティビティがない日は、各自で休んだりお出かけしたりと自由に行動します。毎日楽しみながら英語に触れることができ、とても充実した21日間でした。マギル大学に通ったこと、様々な観光名所に訪れたこと、どれも素敵な思い出です。しかしなんといっても忘れられないのは最終日に開催されたフェアウェルパーティーでした。モニターの皆さんと作り上げた出し物は最高に盛り上がりました。私は今回の研修で自身の英語力の未熟さを痛感すると同時に、もっとモニターの皆さんと会話ができるようになりたいという目標ができました。また、海外の大学で学ぶことに対しても強い憧れを持つようになりました。

津田塾大学のプログラムとしての語学研修には様々なメリットがあります。私は当初知り合いがほとんどいない状態で参加しましたが、帰国する頃には津田塾生や海外の方を問わず、たくさんの方と友達になりました。海外の方とは今でもSNSを通じて連絡を取っています。また、ギャップタームに開催されるため帰国後から授業開始までに余裕があり、サークル活動や課題、旅行などの予定を気にせずに参加できます。是非この機会を活かし、語学研修に参加することをお勧めします。

キャンセルについて

- キャンセル方法：申し込み後にキャンセルする場合は、下記、日本旅行東京多摩支店にメール又はFAXにてご連絡下さい。連絡が営業時間外の場合は翌営業日・時間が取り消し受付日となります。
- キャンセル料金：取消時期によって変わります。次の①～③の合計額となります。
 - ①研修校規定の取消料→研修校で決められているキャンセル料と事前研修費用等の諸費
 - ②旅行費用取消料→往復航空運賃に関するキャンセル料
 - ③取消手数料(キャンセルした日により料金が変わります)

研修費用	
申し込み取消し受付日	①研修校規定の取消料
5月23日まで	25,000円
5月24日～6月13日	25%+諸費*
6月14日～7月5日	40%+諸費*
7月6日(出発日)以降	100%+諸費*

* 諸費内訳: 事前研修レクチャー費用、TOEFL ITP(受験料)、その他

旅行費用		
申し込み取消し受付日	②旅行費用取消料	③取消手数料
6月5日まで	20,000円	540円
6月6日～7月3日	20%	3,500円
7月4日～7月5日 (*旅行会社へ17時迄に電話連絡必要)	50%	8,750円
7月6日(出発日)以降	100%	17,500円

※①～③の取消料は4月24日(水)より適用致します。

※7月6日以降のキャンセルの場合、燃油特別付加運賃・空港関連諸税がキャンセル料金に加わります。

<研修企画>
津田塾大学国際センター



研修手続/旅行手配

株式会社 日本旅行東京多摩支店 日本旅行業協会正会員/観光庁長官登録旅行業第2号
東京都立川市曙町 1-21-1 ユニゾ立川ビル3階
TEL:(042)527-9462 FAX:(042)522-2553
(月～金: 9時30分～17時30分: 土日祝日は休業)
担当: 内田雅也 (masaya_uchida@nta.co.jp)、川上節子